



各 位

会 社 名 株式会社アパマンショップホールディングス
 (JASDAQ・コード8889)
 代 表 者 代表取締役社長 大村 浩次
 本 社 所 在 地 東京都中央区京橋一丁目1番5号
 問 合 せ 先 常務取締役 石川 雅浩
 T E L 0 3 - 3 2 3 1 - 8 0 2 0

特別損失の発生および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 23 年9月期第4四半期において、下記のとおり特別損失が発生する見込みであるため、その概要をお知らせするとともに、平成 23 年5月2日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生とその内容について

(1) 連結

①減損損失

当社グループでは、有利子負債削減を目的として保有不動産の売却を進めておりますが、当社および当社子会社の保有する売却予定不動産(固定資産)のうち、当第4四半期において、売買契約締結済・買付等取得済等の 11 物件について売却見込額との差額の減損処理を行ったこと、並びに時価が著しく低下した2物件について減損処理を行ったこと等に伴い、合計 2,234 百万円の減損損失を計上いたします。

②固定資産売却損

有利子負債削減を目的として売却を進めている当社および当社子会社の保有する不動産(固定資産)のうち、当第4四半期中の不動産売却完了に伴い、合計 1,424 百万円の固定資産売却損を計上いたします。

③貸倒引当金繰入額

当社子会社の組成したSPCの解散に伴う貸付金・未収入金等、並びに当社取引先への長期未収入金等について、回収活動の状況等を踏まえ回収可能性を保守的に見積もった結果、合計 313 百万円の貸倒引当金繰入額を計上いたします。

(2) 個別

①減損損失

当社の保有する固定資産(不動産)のうち時価が著しく低下した不動産(固定資産)の減損処理に伴い、734 百万円の減損損失を計上いたします。

②関係会社株式評価損

当社の連結子会社である株式会社アパマンショップリゾートパークの業績及び純資産状況に鑑み、同社株式について減損処理を行い、関係会社株式評価損として 211 百万円を計上いたします。

2. 業績予想の修正について

(1)平成 23 年9月期通期連結業績予想数値の修正(平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年9月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	43,000	2,000	650	△1,800	△1,378.81
今回発表予想(B)	42,583	2,187	859	△3,126	△1,917.98
増減額 (B-A)	△417	187	209	△1,326	—
増減率 (%)	△1.0	9.4	32.1	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 22 年9月期)	47,307	1,673	480	3,058	2,413.64

(2)平成 23 年9月期通期個別業績予想数値の修正(平成 22 年 10 月 1 日～平成 23 年9月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,600	240	△850	△900	△689.40
今回発表予想(B)	3,831	228	△875	△1,701	△1,043.60
増減額 (B-A)	231	△12	△25	△801	—
増減率 (%)	6.4	△5.0	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 22 年9月期)	—	—	—	—	—

(3)修正の理由

<連結>

売上高においては、概ね計画通りに推移し、前回予想より417百万円減の42,583百万円となる見込みです。営業利益においては、主にPM事業を中心とした原価低減や販管費削減施策の効果が寄与し、前回予想より187百万円増の2,187百万円となる見込みです。経常利益においては、主に営業利益の増加の要因により、前回予想より209百万円増の859百万円となる見込みです。当期純利益においては、経常利益の増加や平成23年7月29日付「当社子会社の建設・開発事業部門の事業承継に伴う特別利益の発生に関するお知らせ」記載の特別利益642百万円の発生等の要因はあるものの、特別損失計上の主要因である有利子負債圧縮を目的とした不動産売却が想定を上回ったことにより、1. 記載の特別損失の計上額が前回(平成23年5月2日付)業績予想修正時の想定より増加したこと等の要因により、前回予想より1,326百万円減の△3,126百万円となる見込みです。

<個別>

売上高においては、連結子会社からのソフトウェア使用料の増加等の要因に加え、保有不動産からの賃料等の収入が堅調に推移したことにより、前回予想より231百万円増の3,831百万円となる見込みです。営業利益・経常利益においては、概ね計画通りに推移し、営業利益は前回予想より12百万円減の228百万円、経常利益は前回予想より25百万円減の△875百万円となる見込みです。当期純利益においては、第3四半期までの減少要因に加え、1. 記載の特別損失の計上等の要因により、前回予想より801百万円減の△1,701百万円となる見込みです。

(注)上記の業績予想につきましては、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因等により、上記に記載した予想数値と大きく異なる可能性がある点にご留意ください。

以 上